

●四半世紀をかけて完結!

No.RN-1378, Nov. 2024

●「年代順」編集方式が初めて採用されたアカデミー版プーシキン著作集(「全集」)

●文芸作品、批評、時評、書簡、絵、欄外書込み、書類

ロシア科学アカデミー版 プーシキン著作集 全12巻 (13冊)

編纂 ネポムニヤシチー他(世界文学研究所の研究グループ)

モスクワ、世界文学研究所/「ナスレージエ」社 2000~2024 年刊 全 7115 頁

Пушкин А.С. - Собрание сочинений. В 12 т. (13 кн.)

Ред.и авт.коммент.: Непомнящий В.С., Есипов В.М., Кожевников В.А., и др.
Института мировой литературы имени А.М.Горького (ИМЛИ) РАН.

М., ИМЛИ; Наследие, 2000-2024 гг., 7115 с. ISBN9785920800364.

(R264153-4347)

セット予価 hard (13) ¥71,500.

■本書は、ロシア文章語の確立と新しい国民文学の創造を担った詩聖プーシキン(1799-1837)の、新しい編集方式による「著作集」です。タイトルは「著作集」ですが内容的にみて「全集」と異なりません。従来の編集方式は、プーシキン生誕 100 年記念のアカデミー版「全集」全 16 巻(1937-1959)以降「ジャンル別」が専らでしたが、今回のモスクワの世界文学研究所による「著作集」では(作品発生の)「年代順」の方針を貫きました。

■この編集方式は、アカデミックなプーシキン学への批判を惜しまなかった同研究所の上級研究員で「プーシキン委員会」代表の著名なプーシキン学者ネポムニヤシチー(1934-2020)が提唱したものです。ジャンル別の編集ではプーシキンの歴史的・有機的な創作プロセスが統一的に把握できない、という認識に基づいています。

■現在、 Санкт-Петербурグのロシア文学研究所(プーシキン館)編「全集」(ナウカ社刊)が、1999 年から5冊刊行されていますが、こちらは従来通りの「ジャンル別」編集です。ロシア科学アカデミー傘下の Санкт-Петербурグとモスクワの2つの学術機関で、21 世紀の初めから、互いに異なる編集方針でプーシキンの著作集(全集)が刊行中、ということです。異なる研究者集団によるもので、どちらもプーシキンとロシア文学・ロシア語の研究に欠かせぬ基本的な重要文献です。

■本書の各巻がカバーする執筆時期は以下の通りです(第 12 巻は2分冊)。

Том I 1809—1819 гг. (2000 年刊) / Том II 1820—1823 гг. / Том III 1823—1824 гг.
/ Том IV 1825—1826 гг. / Том V 1826—1827 гг. / Том VI 1828—1830 гг. / Том VII 1830 г. (Болдинская осень) / Том VIII — 1830—1833 гг. / Том IX — 1833 г.
/ Том X 1834 г. / Том XI 1835-1836 гг. / Том XII в 2-х книгах. 1835-1837 гг. (2024 年刊)

●表示価格は消費税込みの価格です。